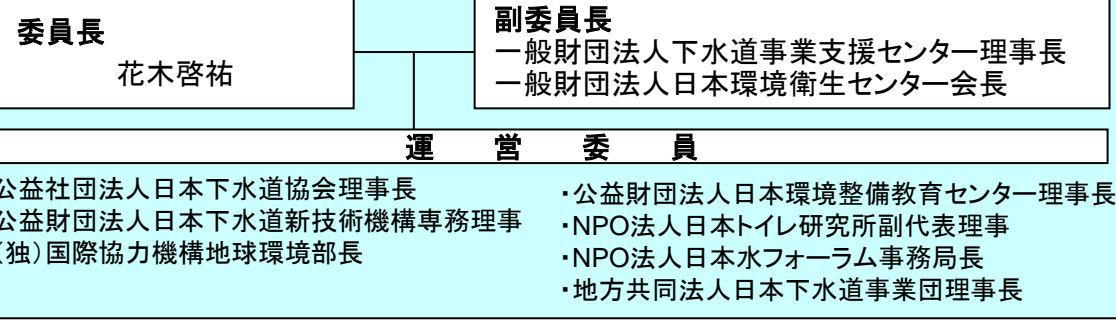
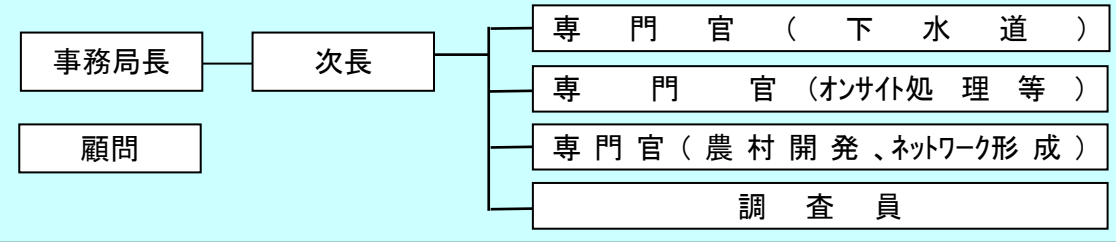


JSCの組織構成

運営委員会



事務局



パートナー機関

- ・アジア開発銀行 (ADB)
- ・独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
- ・公益財団法人 下水道新技術推進機構 (JIWET)
- ・水・環境ソリューションハブ (WES Hub) (北九州市、大阪市、東京都、横浜市、神戸市、福岡市、川崎市、埼玉県、JS、滋賀県、仙台市)
- ・NPO法人 日本トイレ研究所 (JTL)
- ・NPO法人 日本水フォーラム (JWF)
- ・下水道グローバルセンター (GCUS)
- ・World Toilet Organization (WTO)

これまでの活動

- 2009 10 JSC発足 (第1回運営委員会 10.16)
 - 2010 1 国際衛生年フォローアップ会合 (日本政府主催) 参加/東京
 - 2010 2 日本・インドネシア衛生セミナー/ジャカルタ
 - 2010 6 第4回都市開発に関する日印交流会議/ニューデリー
 - 2011 9 日印グローバル・パートナーシップ・サミット2011/東京
 - 2011 10 ADBI-JSWA-JSC Regional Workshop on Sanitation (Wastewater & Sludge Management) in the Asia-Pacific
 - 2012 10 第6回都市開発に関する日印交流会議/ニューデリー
 - 2013 3 ADBとJSCとの協力趣意書の締結
 - 2013 5 第2回アジア・太平洋サミットにてワークショップ開催/チェンマイ
 - 2014 12 JSCワークショップ「持続可能な都市のための汚水管理/チェンマイ
 - 2015 4 第7回世界水フォーラムにてセッションを開催/大邱、韓国
 - 2016 11 ADB Sanitation and Sustainable Development in Japan 発刊
 - 2017 12 第3回アジア・太平洋水サミットにてワークショップ開催/ヤンゴン
 - 2018 3 第8回世界水フォーラムにてセッションを開催/ブラジリア
 - 2019 1 AWaPのサポート機関
 - 2019 11 水ファイナンスに関する円卓会議/ADB本部
 - 2019 12 第13回日越定期会合 (技術協力覚書締結10年、記念発表会)
 - 2020 2 JICA能力強化研修「都市における包括的汚水処理サービスの実現」に参加
 - 2021 8 第2回AWaP総会 (オンライン) が開催され、総合司会を行った
 - 2022 4 第4回APWSが熊本市で開催され、国連機関と共同で分科会5 (水と衛生/汚水管理) を主催した
- ※2009~2016カントリー調査団/インドネシア、インド、ブータン、マレーシア、ベトナム

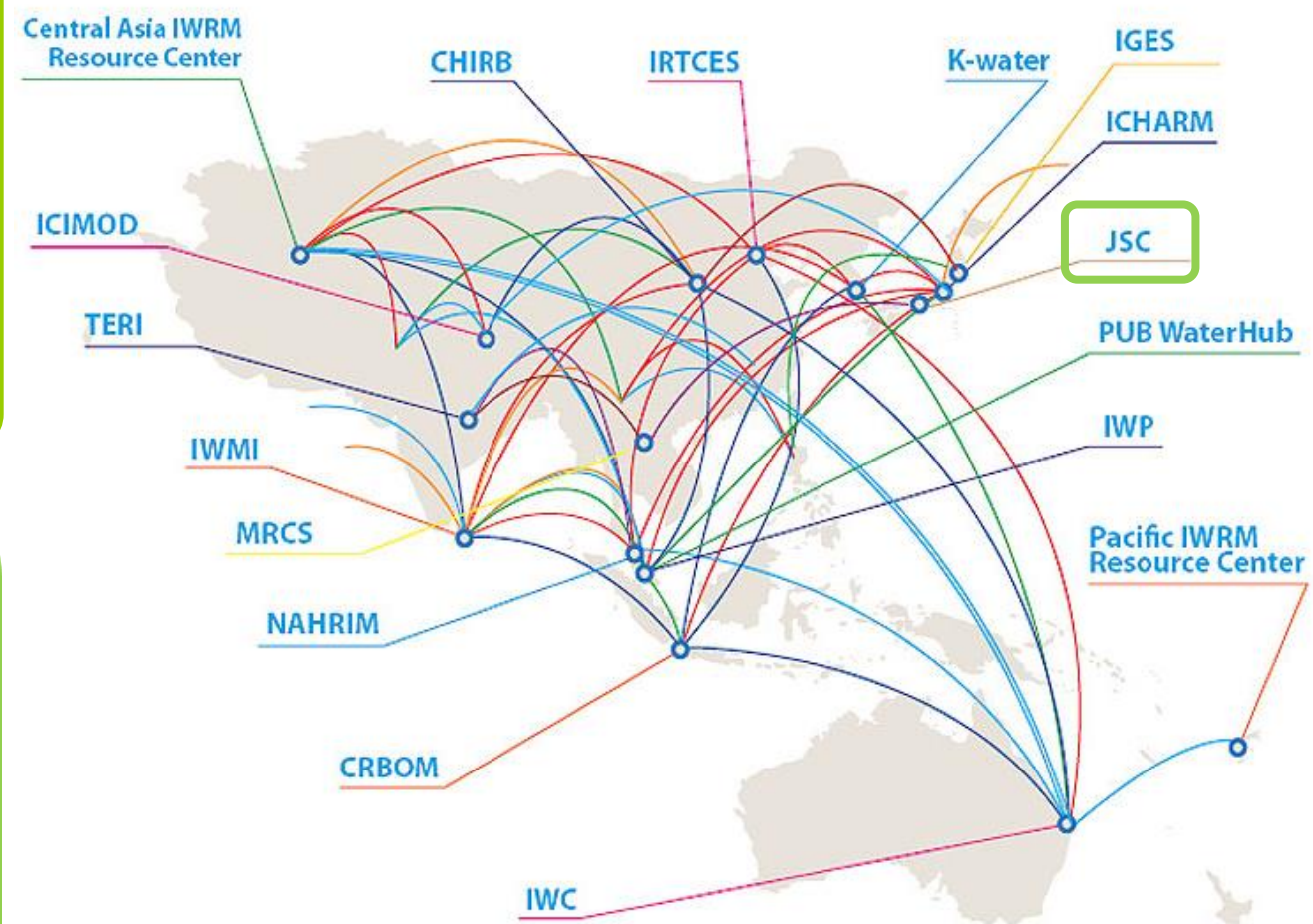
お問い合わせ先
代表事務所

一般財団法人 下水道事業支援センター (東京都文京区湯島3-26-9
インテリジェントビル湯島イヤサカ5F)
電話 03-6803-2700 FAX 03-6803-2539 URL: <http://www.sbm.or.jp>
一般財団法人 日本環境衛生センター (川崎市川崎区四谷上町11-15)
電話 044-287-3251 FAX 044-287-3255 URL: <http://www.jesc.or.jp/>

www.jsanic.org



～アジア太平洋地域の衛生問題解決にむけて～



日本サニテーションコンソーシアム

(構成団体)

- 一般財団法人 下水道事業支援センター (SBMC)
- 一般財団法人 日本環境衛生センター (JESC)
- 公益社団法人 日本下水道協会 (JSWA)
- 公益財団法人 日本環境整備教育センター (JECES)
- 地方共同法人 日本下水道事業団 (JS)

ナレッジハブとは・・・

- ・アジア太平洋水フォーラム (APWF) が推進する「地域の水に関する知識ネットワーク」の中心 (ハブ) となる組織です。
- ・各ハブは、それぞれの分野で、アジア・太平洋地域における水の安全保障の向上や知識の共有を促進し、水の課題解決のため取り組んでいます。
- ・現在、テーマ毎に17のハブ組織があり、日本ではJSC以外に2つの組織が活動しています。
 - －災害リスク低減・洪水制御 (ICHARM)
 - －地下水管理 (IGES)
- ・JSCは2009年6月にシンガポールで行われたAPWFの執行審議会において、IGESとともに新たなハブとして認められました。

アジア太平洋地域における サニテーションの課題

アジア太平洋地域の「衛生」事情について、各国間で情報が共有されていない

各国・各地域で衛生行政が断片化

情報が知識として未集約

「衛生」分野の

政策

能力

投資

が未発達

クライアント (国・市町村・NGO等) への支援が必要

サニテーションナレッジハブへの期待

目的

- ・アジア太平洋地域の各国の「衛生」に関する政策的・技術的能力の向上
- ・下水道の整備、トイレの普及、浄化槽やし尿収集処理等のオンサイトサニテーションの開発・普及に関する能力構築

役割

- ・アジア各国の「衛生」能力構築・向上のため、各国際機関をネットワークし、知識・情報を集約・共有・普及
- ・ハブの構成団体ではない国内パートナー組織の情報についても、ハブを通して情報交換・連携
- ・クライアントの活動を支援

活動内容

- ・各国のネットワーキングと国際セミナーの開催
 - －各国の「衛生」関係機関の情報ネットワークの設置・運営
 - －「衛生」に関する知識と経験の普及のための国際セミナーの開催
- ・調査活動
 - －アジア太平洋地域の「衛生」データベースの構築
 - －産学官のチーム編成による各国別の衛生改善に関する調査活動の実施
- ・ADB・JICA等が行う「衛生」関係オペレーションに関する助言や支援 (プロジェクト調査、適正技術選定)
- ・UNICEF等の国連機関やWTO (世界トイレ機関) 等のNGO, NPOとの連携